

## 平成 27 年度 第 1 回作井技術委員会議事録

作井技術委員会 事務局

開催日時:平成 27 年 9 月 14 日(月) 15:00~17:30

開催場所:石油資源開発(株)1902 & 1903 (19 階) 会議室

出席者:武村委員長、戸田、日野、池田、浦野、尾上、古谷、木下、長縄、稲田、小林(照)、坂井、藤田、長久保、小川、中台、高橋、橋本(代理)、根本、五十嵐、小林(信)(代理)、板倉、岩本、鷲野、片岡 計 25 名(欠席 13 名)

### ◇作井技術委員会(15:00 ~ 16:15)

#### 議題 1:作井技術委員の異動

(添付資料 1)

- 国際石油開発帝石(株)の浦野氏が異動のため、同・工藤氏へ交代。

#### 議題 2:平成 26 年度活動実績概要

事務局より以下の報告があった。

- 1) 年間活動実績
- 2) 活動費決算

- 協会誌への投稿を勧めた 5 件の個人講演の内、1 件が協会誌に掲載済み。1 件は 9 月の編集委員会で受理され、今後掲載される予定。

#### 議題 3:平成 27 年度春季講演会の総括

- 1) シンポジウムと個人講演概要のレビュー

- シンポジウム講演の参加者は AM: 93 名, PM: 84 名、個人講演は AM: 74 名, PM: 90 名であった。
- 小グループ討論で出てきた質問およびコメントを集計および編集し、作井技術委員会ホームページの成果物にアップロードした。

- 2) 協会誌投稿推薦個人講演一運営幹事会選定 4 講演、学生優秀発表賞の紹介

- 推薦した 4 件のうち、1 件は辞退、1 件は投稿を検討するとの返答あり。
- 学生優秀発表賞:「X 線 CT を利用した未固結砂層の破壊と出砂の室内実験」

- 3) シンポジウム原稿の執筆状況

- 5 講演の内、3 講演は査読終了、1 講演は査読中。
- 原稿の掲載順序は昨年同様、講演と討論録をセットにして掲載する。

- 4) 来年度春季講演会運営での改善点について意見交換

- 本年度実施した少人数意見交換を含む全員参加型のシンポジウム、および個人講演の休憩時間の個人毎の質疑応答は来年も実施する。
- シンポジウムの実施方法に関して、以下の改善案が出た。

- ◇ 経験や知識の差が大きい人との少人数意見交換に抵抗を感じる学生、異業種、若手(経験 4・5 年程度までを目途)だけでグループを形成するエリアを設置し、それ以外の席はフリーとする。

- ◇ 学生・若手・異業種の小人数グループには、質問に答えるだけのスタッフを 1 名配置する。
- ◇ 世話人以外にも各社からボランティアを募り、上記スタッフや司会を含め運営の協力を願います。
- ◇ 全体討論に別途ファシリテーターを配置するのはとりやめ、司会者が全体討論を進行する。小人数グループ意見交換でた質問とコメントは小グループメンバーから直接発言してもらおう。全体討論の時間をより長く確保するため、公演数をしぼり込む必要あり。討論時間を長く確保できれば、各グループに意見を振ることもできる。

#### 議題 4: 大水深分科会活動報告

- 10/2 に第 20 回会合を開催。Subsea BOP をメインに、大水深掘削技術のトピックを発表する予定。

#### 議題 5: 理事会報告

- 秋季講演会、協会誌印刷費削減案検討状況、第 81・82 期理事選挙、石油技術協会賞「奨励賞」の設置について

#### 議題 6: 作井技術委員会活動方針

- 1) 平成 27 年度活動方針(案) (添付資料 2)
- 2) 年間スケジュール(案) (添付資料 3)
- 3) 予算(案) (添付資料 4)
  - 1), 2), 3) について、委員の承認を得た。
  - 来年度春季講演会(6 月 8、9 日@秋田ビューホテル)シンポジウムのテーマについて事務局より、今春の春季講演会のアンケート結果を紹介した。(添付資料 5)  
今後の運営幹事会でテーマの絞り込みを行っていくが、取り上げてもらいたいテーマやシンポジウム講演として発表可能なテーマがあれば委員から事務局に連絡する。

#### 議題 7: その他

- 若手技術者の交流会の開催について
  - ◇ 各社若手技術者間の交流を深めることを目的とする。
  - ◇ キャリア 10 年目程度までの社員を主対象とし、必要に応じてシニアがサポートする。
  - ◇ ワークショップ形式でテーマは参加者で決定。第 1 回参加者の中から各社連絡係を選出し、2 回目以降は持ち回りで実施。将来分科会に発展することを期待。
  - ◇ 第 1 回交流会は、9/29(火)16:00 から石油資源開発にて開催予定。  
演題:「ちきゅう」大水深科学掘削に携わって  
スピーカー:石油資源開発 片岡  
第 1 回交流会の会議費として委員会活動費から 20,000 円支出する。
- 作井技術委員会ホームページの旧 HSQE 分科会の掲載枠について
  - ◇ HSQE 分科会が廃止されたため、同掲載枠の有効利用案として、シンポジウムの事前資

料、質問&コメント集、若手交流会の資料等をアップロードする案等検討中。どのようなカテゴリーの情報を掲載するか検討中。(委員からの提案を期待)

➤ 作井技術委員会ホームページの掘削用語集について

- ✧ 間違っている箇所が散見されるので、用語集の見直し、修正を行ってはどうかとの提案があった。見直し・修正の方法について具体案を作成し方針を検討する。

◇特別講演(16:30 ~ 17:30)

演題:「当社における女性活躍推進の取り組み」

講演者:池田 久美子 担当課長(ダイキン工業(株) 人事本部 人事企画グループ)

- 「人を基軸に置いた経営」を根本としているダイキン工業のダイバーシティの考え方についての講演。初めに、「人を基軸に置く経営」とは何なのかについて説明いただき、ダイバーシティに関する現在までの具体的な取り組みと結果、および今後の計画についてご紹介いただいた。

以上